

楡葉町早期帰還・定住環境整備工程表

楡葉町・福島県・復興庁

必要な帰還・定住環境	帰還・定住に向けた環境整備の方向性	各取組の工程(予定どおりに進んだ場合の最短スケジュール)													備考
		平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度以降	
		4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
時期区分 各種計画の策定	・復興計画(第二次)の決定、その他帰還・定住に向けた各種計画の策定														※平成26年春の帰町の判断において、帰町可能とされた場合の、最速の時期
除染の実施、除染廃棄物等の管理	・特別地域内除染実施計画(楡葉町)に基づく住宅・農地・森林等の除染 ・除染廃棄物等の仮置場の設置及び一時保管 ・仮置場から集中管理を行う移送先への除染廃棄物等の安全な搬出	<p>国による生活圏の除染の実施 → 国による事後モニタリングの実施/フォローアップ除染の検討</p> <p>町による除染の効果の検証</p> <p>仮置場の選定・設置 → 仮置場での除染廃棄物等の一時保管(3年程度) → 仮置場から移送先への除染廃棄物等の搬出</p>													国は、長期的な目標として追加被ばく線量が年間1ミリシーベルト以下となることを目指した対策を講ずる。
放射線モニタリング	・町内全域の継続的モニタリングの体制整備・実施 ・モニタリング結果公表の充実	<p>町内全域のモニタリングの継続的実施</p> <p>モニタリング結果公表体制の整備</p>													
交通	道路	<p>地元調整、用地取得 → 用地取得・工事</p> <p>地元調整、調査・設計 → 調査・設計、用地取得・工事</p> <p>復興インターチェンジ及び接続道路の検討 → 検討結果に基づく各関係機関との協議実施</p> <p>町道の復旧工事</p>													「常磐自動車道に復興IC及び緊急開口部の設置検討」については、平成25年度に町で実施する「土地利用計画アクションプラン策定調査事業」において検討している。 なお、そのうち復興ICについては、上記調査事業において、その実現に向けた課題整理と技術的検討を県に委託している。
	鉄道	<p>復旧方策の調査 → 復旧工事等</p>													
	バス	<p>復興支援バスの運行</p> <p>町内循環バスの運行</p>													
電気・ガス・通信	・完全復旧 ※電気・通信(電話回線)は、津波被災地区を除き復旧済み	<p>各戸のプロパンガスの復旧作業</p>													
上下水道	・上水道の復旧 導水施設の応急復旧(応急復旧により稼働中) 浄水施設の本復旧(応急復旧により稼働中) 配水施設、給水施設(津波被災地区以外)の応急復旧 配水施設、給水施設(津波被災地区)の復旧 ・水道水の放射性物質モニタリング	<p>査定・工事 → 工事</p> <p>査定・工事 → 実施計画協議・工事※</p> <p>水道水の放射性物質のモニタリング</p>													※津波被災地区の配水施設、給水施設の復旧は、楡葉町復興計画に基づき実施計画を作成する

必要な帰還・定住環境	帰還・定住に向けた環境整備の方向性	各取組の工程(予定どおりに進んだ場合の最短スケジュール)													備考	
		平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度以降		
		4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月			
下水道	・公共下水道の復旧 南北処理区管渠の復旧 北地区浄化センターの復旧(稼働中) 南地区浄化センターの復旧	工事	→													
公共施設	公共・公益施設の復旧															
	檜葉町役場	調査	→	設計	→	査定	→	工事	→							
	檜葉町集会所	調査	→	設計	→	査定	→	工事	→							
	公民館・公民館別館		調査	→				設計・査定・工事	→							
海岸対策	海岸対策(堤防の復旧)	査定	→													
		地元調整、詳細設計、国協議、工	→					用地買収、工事	→							
海岸防災林の再生	・治山施設災害復旧事業	調査設計	→	工事	→			工事	→							
	・防災林造成事業				調査・調整	→		森林造成計画作成	→							
住宅の再建・確保、住環境の整備	・住宅復旧の促進(修繕・解体・撤去等の支援、廃棄物の回収・処理等) ・地震・津波により家屋被害に遭った住民に対する住宅の確保 ・害獣の捕獲、害虫・ねずみの広域駆除、防疫対策の検討及び実施 ・特例宿泊の実施	住宅復旧促進のための支援	→													
		災害公営住宅の整備	→													
		町営住宅の復旧						(入居者との調整等)		(復旧工事)	→					
		害獣の捕獲、害虫・ねずみの広域駆除、防疫対策	→													
		特例宿泊の実施	→													
廃棄物の収集・処理	・仮置場の整備、平成25年度内の帰還の妨げとなる廃棄物の仮置場への搬入を目標 ・仮設処理施設の建設、減容化処理	仮置場の整備、廃棄物の仮置場への搬入	→													
								仮設処理施設立地場所確保、建設工事完了後、減容化処理	→							
コンパクトタウン	・生活関連サービスや住民交流施設を有する新たな中心街区となるコンパクトタウンの整備 ・商業共同店舗(住民が集うコミュニティ施設の併設)、宿泊施設等の設置	コンパクトタウン全体の調査・設計	→													
		共同店舗等の設計・入居者募集	→					許認可・土地取得・造成	→	共同店舗等の建設	→					
商店	・地元商店の再開 ・コンパクトタウンにおける商業共同店舗の設置(再掲)	地元商店の再開に向けた準備	→													
郵便局・金融機関	・郵便局、金融機関の再開	再開に向けた要請	→													
竜田駅東口	・「パーク＆ライド機能」を有する竜田駅東口周辺の整備	調査・設計	→							工事	→					

必要な帰還・定住環境	帰還・定住に向けた環境整備の方向性	各取組の工程(予定どおりに進んだ場合の最短スケジュール)													備考		
		平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度以降			
		4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月				
防災対策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画の見直し ・防災拠点の整備 ・災害に強い人づくり ・資機材・備蓄の整備 ・緊急情報伝達・広報体制の充実 	オフサイトセンターの整備															
		自主防災組織の再生・活性化、消防団の再構築、防災訓練の実施等				継続的实施											
		資機材・備蓄・情報連絡体制の整備															
防犯対策	・町内の防犯・防災による帰町過程の安全・安心の確保	「檜葉町特別警戒隊」による24時間体制の警戒パトロール															
Jヴィレッジ	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ拠点としての本来機能の回復 ・東電によるJヴィレッジ返還計画の加速化の検討 	Jヴィレッジ返還計画の加速化				東電関係者の事務所・宿舍・駐車場等の機能移転に向けた検討										具体的には、平成25年度に実施する「土地利用計画アクションプラン策定調査事業」において検討。	
放射線影響への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・被ばく線量測定による健康管理の継続的实施 ・放射性影響に対する町民の理解の促進 ・食品中の放射性物質検査体制の整備 	個人線量計(ガラスバッチ)の配布															
		ホールボディカウンターの設置・検診(Jヴィレッジメディカルセンター内)															
		リスクコミュニケーションの実施															
		食品中の放射性物質検査体制の整備															
医療・健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・町内一次医療の確保・充実(Jヴィレッジメディカルセンターの機能も活用) ・救急・二次医療機関の整備に向けた調整 ・放射線医療研究・予防医療福祉総合センター(仮称)の整備に向けた調整 	町内一次医療機関の再開準備等				(一次医療の確保) 帰町の状況に応じた一次医療の充実											
		救急・二次医療機関の整備に向けた調整															
		放射線医療研究・予防医療福祉総合センター(仮称)の整備に向けた調整															
福祉・介護	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な町民ニーズに応じた福祉・介護サービスの確保・充実 ・町内既存の特別養護老人ホーム、介護老人保健施設の再開に向けた調整・検討 	通所施設、在宅サービス体制の整備															
		町内既存の特別養護老人ホーム、介護老人保健施設の再開															
学校(小・中・高)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校は平成27年度から再開予定 ・中高一貫校の南双葉への設置に向けた検討 ・安全・安心で魅力ある教育環境の整備 	小中学校 中高一貫校	仮設校舎での授業再開、檜葉町内での学校再開に向けた準備				檜葉町内での学校再開										
			開校に向けた関係機関との調整・準備				開校										
保育・幼児教育(あおぞらこども園)	・平成27年度から再園予定	仮設園舎での保育、幼児教育・子育て支援事業の再開				檜葉町内での保育、幼児教育・子育て支援事業の再開											
事業活動の再開・新規立地	<ul style="list-style-type: none"> ・町内既存事業者の事業再開 ・廃炉に資する遠隔操作ロボット実証試験施設を核とした関連産業・研究機関の集積 ・事業者のニーズを踏まえた工業団地の増設・新設 	町内既存事業者の事業再開に向けた支援														具体的には、平成25年度に実施する「土地利用計画アクションプラン策定調査事業」において検討。	
		遠隔操作ロボット関連産業・研究機関の誘致				町内における仮設工場の建設											
		工業団地の再生、増設・新設に向けた関係機関との調整				調査・設計・工事											

必要な帰還・定住環境	帰還・定住に向けた環境整備の方向性	各取組の工程(予定どおりに進んだ場合の最短スケジュール)													備考
		平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度以降	
		4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
農林水産業の再開	<ul style="list-style-type: none"> ・営農再開 ・木戸川における水産業の再開(サケ漁) 	営農再開に向けた準備(作付実証等)								本格再開(作付開始)					
		水産業の再開に向けた準備				(サケ稚魚放流再開)		(サケやな漁再開)		水産業の再開					
まちづくり会社	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり会社の設立 	まちづくり会社の設立準備				まちづくり会社の活動実施									